

共有 Android デバイス向け VMware Workspace ONE Launcher

すべてのマルチユーザー デバイスのセキュリティと従業員/顧客体験を最大限に向上させる Workspace ONE Launcher

概要

VMware Workspace ONE Launcher により、組織では共有 Android デバイスを安全にカスタマイズしてシングル アプリケーションまたはマルチアプリケーションキオスクモードに構成し、フロントラインワーカーの生産性を最大限に高めるとともに、従業員と顧客の体験を向上させることができます。

主なメリット

- デバイスをシングル アプリケーションまたはマルチ アプリケーションのキオスクモードに容易にロックまたは構成して、デバイスとデータのセキュリティを確保
- 企業ブランドに合わせて、背景、レイアウト、画像、テキスト、アプリケーションなどのデバイスの UI を高度にカスタマイズ
- ユースケース、従業員の役割に応じて、または個人ごとにデバイス設定を構成
- チェックアウト/チェックインに対応することで、不正なアクセスを防止し、過剰なデータ コストを制限し、また従業員や購入者には必要なアプリケーション、コンテンツ、設定のみへのアクセスを提供
- チェックアウト/チェックインの際の認証を既存の ID プロバイダーと統合して、シングルサインオン(SSO)に対応

物流を含むすべての業界の組織は、ミッションクリティカルな業務を遂行し、卓越した顧客体験を提供するために、共有(マルチユーザー)デバイスを活用しています。共有デバイスを導入することで、すべての従業員にデバイスを配布する必要がなくなり、企業は年間数百万ドルの調達コストと、ユーザーのオンボーディングとオフボーディングに費やす時間を節約しています。しかし、共有デバイスの展開は組織をセキュリティの脆弱性にさらす可能性があります。また、操作性、生産性、エンゲージメントを最適化するために適切に構成しなければなりません。

マルチユーザー共有デバイスのあらゆるユースケースと、企業内でのこの種のデバイスの展開に付随して IT が直面する課題に対応するために、VMware は Google やその他の主要なハードウェア ベンダーと緊密に連携して、Workspace ONE Launcher によって包括的な API サポートを提供しています。Workspace ONE Launcher を使用すると、共有 Android デバイスをカスタマイズしてシングル アプリケーションまたはマルチアプリケーション キオスクモードに構成し、セキュリティに妥協することなくフロントラインワーカーの生産性を最大限に高めるとともに、従業員と購入者の体験を向上させることができます。

構成とカスタマイズ

デスクトップワークステーション、高耐久性モバイルコンピューター、タブレット、ハンドヘルド スキャナー、またはこれらすべてのデバイスの組み合わせなど、Workspace ONE Launcher はあらゆる環境に対応します。IT 部門は Workspace ONE コンソールから直接かつ容易に、デバイスをシングル/マルチアプリ モードにロックしたり、企業ブランドに合わせて UI をカスタマイズしたりできます。

チェックアウト/チェックインに対応

Workspace ONE Launcher では、IT 部門が従業員の役割に応じて、またはや個人ごとに Launcher プロファイルを作成して割り当てることができます。工場のスーパーバイザーや倉庫のピッキング担当者などの従業員がデバイスをチェックアウトすると、自動的にかつ動的にデバイスの構成が行われ、その従業員のログイン認証情報に関連付けられたアプリケーションと設定が使用できるようになります。終業時にデバイスをチェックインすると、設定が消去され、デバイスは次のチェックアウトまで待機する状態に戻ります。チェックインされて使用されていないデバイスも、Workspace ONE コンソールから管理できます。

従業員のデバイスには、生産性とエンゲージメントの維持と、質の高い顧客体験の提供のために必要なアプリケーション、コンテンツ、設定のみが含まれています。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください。

vmware.com/jp/products/workspace-one/launcher.html

